

## みずベネット・オホーツク



網走川 / 「かわ塾」

「水資源が豊富な北海道」ですが、残念なことに網走川と常呂川は水環境の悪化が懸念されています。

子供たちの活動の場が屋外から屋内へと移行しており、昔はかっこの遊び場だった川が、「あぶないから」「汚いから」と、ますます川はなれが進んでいます。

そんな中、川遊びを通じて川を見直し、次世代に継承できる川にしようとする活動が始まりました。ここに新しく発足した会をご紹介します。

### みずベネット・オホーツク

川を知り・川で遊び、学べる川を残すことを目的として、平成18年6月に発足しました。

現在、網走川流域の市町村から代表者を募り、事務局形式で実践的な活動を行なっています。

主な活動は、川の利用のあり方、川に関する情報と発信、地域間の交流促進・支援および川遊びや



常呂川 / 置戸小学校

自然体験学習の開催などです。

昨年は地域交流として、津別町・置戸町・美幌町で子供達との自然体験学習を開催しました。また、一大イベントとなった「遊んじゃえ!楽しい水辺」は、2日間に渡って大空町で行なわれ、講演会やカヌー教室、レスキュー指導と、盛りだくさんの内容でした。

これらイベントの多くは、網走開発建設部北見河川事務所、網走支庁、近隣の市町村やNPOなどが、それぞれ主催・後援・協力して開催されています。

当社は、この活動に賛同し、地域に根ざす会社として協力しています。

## 新年のごあいさつ



株式会社 ドボク管理  
代表取締役 加藤 和雄

新年明けましておめでとうございます。

早いもので、この地域情報誌も創刊号から数え3回目の発行を迎えることができました。これもひとえに御高覧下さるたくさんの方々のおかげであり、心より感謝申し上げます。これからも、皆様方からの生の声を励みに作り続けていく所存です。

さて、昨年は、全国的にも多くの自然災害に見舞われた年でした。台風や集中豪雨による風水害、そして地震による津波騒動、はては前例のない竜巻など、これらの被災状況を見るにつけ、建設業界はもとより、多くの国民も防災事業における公共工事の必要性を改めて認識したのではないのでしょうか。

この地域情報誌のひとつの方向性として、より多くの人たちに建設業界や公共事業を正しく理解してもらおう一助にでもなればと願っています。

平成19年 元旦



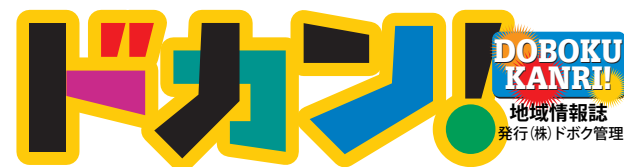
本社ビル

建設コンサルタント業・測量業・補償コンサルタント業・建築設計  
ISO 9001 : 2000認証登録



株式会社 **ドボク管理**

本社 ●〒090-0801 北見市春光町1丁目24番地3 TEL.0157-26-3321 FAX.0157-22-7508  
札幌支店 ●〒060-0908 札幌市東区北8条東1丁目3-7大1ビル TEL.011-704-6704 FAX.011-704-6703  
旭川支店 ●〒070-0831 旭川市旭町1条13丁目688番14.4 TEL.0166-54-7270 FAX.0166-51-1363  
網走出張所 ●〒093-0076 網走市北6条西3丁目3番地 TEL.0152-43-4150 FAX.0152-43-4160



ホームページ <http://www.dobokukanri.co.jp/>



**NO.3**  
2007.1.15

昭和40年代に使われていた  
携帯型手動計算機  
(所蔵: (有) 協和測量設計)

ドボク管理  
調査・設計・補償部門

特集  
道内屋台村探訪

株式会社 **ドボク管理**